

# 【様式2】B案

## 学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表

学士教育プログラム名称

機械システム工学 学士教育プログラム

	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性	
		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身につけ、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語(日本語と外国語)とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身につけ、活用することができる。	
学士教育プログラム学習教育目標	(A) 技術的・倫理的視点で社会に貢献できる能力 幅広い教養と倫理観を備えて、深い洞察力や思考力を駆使し、物事を多面的に捉えて社会に対する責任感を備える。		○	○					
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 幅広い教養と倫理観を学ぶことにより、社会に対する責任感を備えると共に、社会貢献できる能力を養うため。								
	(B) 自然科学の基礎から機械の専門分野を習得し、これを応用できる能力 数学、自然科学、情報技術の基礎分野および機械システム工学の専門分野に関する知識を習得し、これらを工学的問題に応用する能力を養う。						○		○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 情報技術の基礎分野の習得と、機械システム工学の専門分野に関する知識の習得、ならびに工学的問題に応用する能力を養うため。								
(C) 習得した能力および知見を基に問題を捉え、その成果を自主的、継続的に社会に向けて、発信・行動できる能力 自発的で継続した学習習慣により習得した知識を有機的に統合し、安全性・経済性・環境負荷を考慮した機械システムをデザインし、その成果をあらゆる場面で発信する能力を養う。	○				○		○		
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 自発的で継続した学習習慣により習得した知識を有機的に統合して問題を捉え、安全性・経済性・環境負荷を考慮した機械システムをデザインし、その成果をあらゆる場面で発信・行動する能力を養うため。									
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									